

## 令和6年度第1回埼玉県廃棄物処理施設専門委員会 議事要旨

日 時	令和7年2月6日(木) 午後2時から3時30分まで
場 所	埼玉会館 2階 ラウンジ(さいたま市浦和区高砂3-1-4)
委 員 名	荒井委員、尾形委員、伴委員、藤倉委員、藤吉委員(委員長)、松本(泰)委員、松本(利)委員
県担当者	資源循環推進課(事務局) 尾崎課長、赤松副課長、小西主幹、風間主査、高橋主任
事 業 者	申請者及び関係会社の担当者(以下「申請者」という。) 6名

### 【1. (株)ショーモンの廃棄物処理施設設置許可申請について】

質問・意見		説明、回答
1	<p>生活環境影響調査の大気質の評価によると、いくつかの項目で予測結果が環境基準間際のものがあった。</p> <p>周辺の環境濃度の経年変化は減少傾向であることが分かる記載もあるため、今の管理を継続すれば問題ないと考えますが、環境基準を超過することがないように、引き続き適正な維持管理を徹底し、周辺への環境負荷の低減・監視を実施すること。</p> <p>(委員)</p>	<p>適切な監視及び維持管理を行う。</p> <p>(申請者)</p>
2	<p>現在、受け入れている産業廃棄物のカロリーが高いため、焼却炉の定格能力に対して低い焼却量でも燃焼室負荷としては限界となっているのか。</p> <p>また燃焼室負荷への制御はどのように行っているのか。</p> <p>(委員)</p>	<p>廃プラスチック類や医療系廃棄物など、高カロリーの産業廃棄物を処理しており、燃焼室負荷の関係で、焼却量は定格能力より低い。</p> <p>また、炉内温度が1000度を超えると投入ができなくなるような自動制御の設定がされている。</p> <p>(申請者)</p>
3	<p>一般廃棄物と産業廃棄物の受入コントロールについては自治体等との協議の結果によっては、一般廃棄物の受入を優先するということがよいか</p> <p>(委員)</p>	<p>そのとおり。</p> <p>(申請者)</p>
4	<p>脱臭装置を適切に運転管理するということが、具体的な方法を明示してほしい。</p>	<p>今までは不定期に実施していた臭気指数の測定を、1号炉及び2号炉の運転中、停止</p>

	(委員)	中も含め定期的に実施する。 (申請者)
5	悪臭は、異常な臭いが出ていないかを毎日従業員が自分の鼻で確認することが大事である。従業員による日常点検と、定期的な環境測定の2段階で対策をお願いしたい。また環境測定については、日常点検で異常を発見した場合は、測定日の前倒しなど、柔軟に対応すること。 (委員)	維持管理事項に、ご指摘の事項を加え、適切な管理運営を行っていく。 (申請者)

【2. 次回会議の開催の要否について】		
	質問・意見	説明・回答
1	本会議をもって審議を終了とし、意見書の作成に入ってよいか。 (委員長)	異議なし。 (各委員)